

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 1 月 21 日(2025.1.21)

【公開番号】特開 2023-119223(P2023-119223A)
【公開日】令和 5 年 8 月 28 日(2023.8.28)
【年通号数】公開公報(特許)2023-161
【出願番号】特願 2022-21976(P2022-21976)
【国際特許分類】

A 6 1 B 7/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 B 7/04 G

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 1 月 10 日(2025.1.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

聴診対象に接触する接触面と、
前記接触面を可動とする可動部と、を備えることを特徴とする聴診器。

【請求項 2】

複数の前記接触面と、
複数の前記可動部と、を備え、
前記複数の可動部は、前記複数の接触面を、それぞれ、独立して可動とすることを特徴とする請求項 1 に記載の聴診器。

【請求項 3】

前記可動部は、前記接触面を、直交する 2 軸方向に回転可能とすることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の聴診器。

30

【請求項 4】

前記可動部は、前記接触面への負荷に応じて、前記接触面を動かすことを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の聴診器。

【請求項 5】

前記接触面は、無負荷で、第 1 姿勢であり、
前記可動部は、前記接触面への負荷に応じて、前記接触面を第 1 姿勢から傾動させることを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の聴診器。

【請求項 6】

前記センサーを覆うセンサーカバーと、を備え、
前記接触面は、前記センサーカバーの一部であることを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の聴診器。

40

【請求項 7】

前記可動部は、第 1 軸と、前記第 1 軸に直交する第 2 軸と、を有するジンバル機構であることを特徴とする請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の聴診器。

【請求項 8】

前記第 1 軸と前記第 2 軸とは、前記接触面から所定距離内に位置することを特徴とする請求項 7 に記載の聴診器。

【請求項 9】

50

前記センサーが配置されるセンサーホルダーをさらに備え、
前記センサーホルダーは、前記第 1 軸に回転可能に取り付けられていることを特徴とする請求項 7 又は 8 に記載の聴診器。

【請求項 10】

前記センサーホルダーと前記第 1 軸との間に、弾性を有する弾性部材が設けられていることを特徴とする請求項 9 に記載の聴診器。

【請求項 11】

筐体をさらに備え、
前記第 2 軸は、前記筐体に回転可能に取り付けられていることを特徴とする請求項 7 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の聴診器。

10

【請求項 12】

聴診音を採取するためのセンサーと、
前記センサーが配置されるセンサーホルダーと、を備え、
前記センサーは、締結部材により、前記センサーホルダーに取り付けられていることを特徴とする聴診器。

【請求項 13】

聴診対象と接触する接触面と、
接触面が設けられた筐体と、
前記筐体に設けられた溝と、を備えることを特徴とする聴診器。

【請求項 14】

前記筐体は、前記接触面と反対側の面と、前記接触面の両側に位置する 2 つの側面と、を有し、
前記溝は、前記接触面と反対側の面と、前記 2 つの側面と、に設けられていることを特徴とする請求項 13 に記載の聴診器。

20

【請求項 15】

聴診対象と接触する接触面と、
前記接触面が設けられた筐体と、を備え、
前記筐体の前記接触面が設けられた面において、前記接触面を除いた部分は、前記筐体の厚み方向において凹んでいることを特徴とする聴診器。

【請求項 16】

聴診対象と接触する 2 つの接触面と、
前記 2 つの接触面が設けられた筐体と、を備え、
前記筐体において、前記 2 つの接触面の間は、前記 2 つの接触面の並び方向と直交方向に凹んでいることを特徴とする聴診器。

30

【請求項 17】

聴診対象と接触する接触面と、
バッテリーと、
前記接触面が設けられ、前記バッテリーを収容する筐体と、
を備え、
前記バッテリーは、前記筐体の長手方向の中心からずれた位置に配置されていることを特徴とする聴診器。

40

【請求項 18】

聴診対象と接触する接触面と、
前記接触面が設けられた筐体と、を備え、
前記筐体の前記接触面と反対側の面は、湾曲形状であり、
前記接触面と反対側の面の湾曲率は、長手方向のいずれか一方側と、他方側と、で異なっていることを特徴とする聴診器。

【請求項 19】

聴診音を採取するためのセンサーと、
前記センサーを覆うセンサーカバーと、

50

本体筐体と、を備え、

前記センサーカバーの端部は、前記本体筐体によって挟まれていることを特徴とする聴診器。

10

20

30

40

50